

日本バプテスト連盟の諸教会・伝道所のみなさま

熊本・大分地震から半年 現地からの感謝

2016年10月5日

南九州地方連合

会長 徳渕敬尚

主のみ名を讃美いたします。

今年4月14日午後9時26分、16日午前1時25分、二度にわたり熊本地方を中心に震度7の強烈な地震が起きました。その後も余震が長期間続き、地域によっては、雨が降るたびに土砂災害の心配から避難所に引き返すといった日々が繰り返されました。また、南九州地方連合の七つの教会・伝道所でも大小さまざまな建物の被害がでました。

まもなく地震発生から半年をむかえようとしています。日本バプテスト連盟では、地震発生直後から支援募金を呼び掛けてくださいました。そして、現在に至るまで、祈りの込められた尊い献金を寄せ続けてくださっていることを、心から感謝いたします。献げていただいた支援募金の用途につきましては、今年7月に連盟から「熊本・大分地震に対する支援への感謝と報告」として全国の諸教会・伝道所に送られたものをご覧ください。今回は、皆さまの献金によって、会堂修復がなされた二つの教会とこれから再建に向かおうとしている教会の三ヶ所の様子をご紹介します。有明教会は、自分たちの教会の財政から考えると部分的な工事になると思われていました。けれども、皆さまの支援によって完全に修復することができました。東熊本教会は、礼拝堂の壁が剥がれ、教育館で礼拝を守られていましたが、今回、礼拝堂内の工事が終わり、礼拝堂での礼拝ができるようになりました。熊本南教会は、半壊の認定がおりるほどの被害をうけました。現在も屋根にはブルーシート、礼拝堂は使えず玄関ホールで礼拝を守っておられます。そのような現状ですが、全国の皆さまからの支援をいただくなかで勇気を与えられ、この地で礼拝を守り続けたい、この教会で伝道が続けたい、ぜひとも会堂の建て替えをとの思いを強くしておられます。

支援募金もまた協力伝道の働きのひとつとして位置付けることができると思います。互いに支え合い担い合うというこの業を通して、協力伝道の群れとしての自覚と喜びをより深く実感しております。どうぞこれからも引き続き祈りに覚えてください。よろしく願いいたします。

熊本からの感謝 (熊本・大分地震から半年)

4月14、16日に発生した地震は熊本・大分地区に大きな被害を及ぼし、日本バプテスト連盟に加盟する教会の中にも被害を受けた教会がありました。震災発生後すぐに連盟が支援募金を呼びかけてくださり、これまでに全国の諸教会の皆様より¥12,232,737(9/6現在)の尊い献金が寄せられましたこと、心より感謝いたします。

震災から半年経ち、会堂の修復が進んだ教会があり、これから会堂建築に取り組もうとしている教会もあります。今回は南九州地方連合の3つの教会の状況をお知らせし、現在の祈りの課題を共有いたします。また被災地では、未だに深く傷を負った方が多くおり、教会も会堂修復だけではない様々な課題を持っています。それぞれの教会において祈りに憶えていただければ感謝です。

南九州地方連合

有明キリスト教会	東熊本キリスト教会	熊本南キリスト教会
<p>今回の被害・工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 敷地南側ブロック塀の危険部分(上3段)の撤去 * 建物外壁のひび割れにコーキング剤を詰め、塗装 * 雨漏り防止対策 * ブロック塀の撤去に伴い看板新調 	<p>今回の被害・工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 屋根瓦がずれ、雨漏り。 * 講壇前の壁が剥がれ、あちこちの壁面に亀裂が入る。 * 壁面の工事完了。 	<p>今回の被害・今後の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> * 屋根瓦が落ち、会堂内に雨漏り。 * 天井や壁の剥がれ。 * 食器棚などが転倒。 * 会堂建て替えに向け、図面を準備し、財政的な調えをしている。
 <p>工事前 2016年4月</p>	 <p>工事前 2016年4月</p>	 <p>震災後 2016年4月</p>
 <p>工事後 2016年8月</p>	 <p>工事後 2016年8月</p>	 <p>片付け後 2016年5月</p>
<p>祈りの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> * 築46年の会堂は今回の工事によって後10~15年は使用可能だが、将来的なリフォーム、建築に向けたビジョンが与えられるように。 	<p>祈りの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> * 会堂内の修復は終わったものの、屋根などの屋外は未完。照明の取り付けも終わっていない。 * 全壊した納骨堂の修復。 * これまでの支援に感謝。 	<p>祈りの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> * 癒しの場、心の支えでもある教会堂の1日も早い再建。 * 通常の礼拝を取り戻すことができるように。



【被災地支援】

被災地では、避難所から仮設住宅への移行が進んでおり、福岡地方連合を中心に、仮設住宅へ入居した方を対象にした食器提供が7月以来続けられてきました。町並みは解体が始まり、少しずつ復興へ向けて進みつつありますが、被災された方々の生活は、ようやく「避難生活」から、次の生活へと移行したばかりです。引き続き憶えてお祈り下さい。